

平成30年度議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員会委員長 深沢 幸子

平成30年10月4日（木） 愛知県豊川市議会

○オール豊川で取り組むシティセールスについて

市民・・・町が元気になり，豊かに住みよく暮らす

NPO・・・活動の機会が拡大し，ネットワークが広がる

地域・・・人々の間の一体感が生まれ，市域が活性化する

企業・・・人の交流が増え，ビジネス機会が拡大する

大学・・・人材の育成と蓄積された知識の活用が図れる

行政・・・安定した行政運営と市民サービスの向上が図れる

シティプロモーションにお金をかけないと決めて愛着心の醸成とファン獲得の取り組みに力を入れているそうです。主な取り組みとして①SNSの活用，総フォロワー数が一年で倍増しています。②動画による魅力発信，年間観光客数4万4,000人増加しました。③シティセールスグッズの作成，豊川市宣伝部長である「いなりん」の紙袋・ファイルを作成しました。④各分野で活躍する豊川市出身のトップランナーを紹介する「MYCOLOR」を設け，知名度アップを目指しています。⑤民間との協働広報として，地域情報誌に市の情報を掲載しています。⑥ふるさと納税を地元事業者と協力して行っています。特に驚いたのはふるさと納税の返礼品は地元事業者の寄附で行っているということです。（全28項目，寄附金総額約1,000万円）そういう考え方もあるのかと目から鱗が落ち，色々と勉強になりました。

平成30年10月5日（金） 愛知県豊橋市議会

○議会運営について

豊川市は人口約37万人，議員総数36名です。豊橋市では市民に開かれた議会を実現するため，本会議だけではなく委員会についてもインターネット中継を開始したそうです。反問権はありませんが，質問という形で内容の確認が出来るそうです。開かれた議会の取り組みとして議会deクイズを開催しています。市内23中学校から2名ずつ代表が参加し，学校対抗で行ったとのこと。問題は議会，選挙，豊橋，時事から出題したそうです。早押しボタンでクイズらしさを演出し，答え合わせで一喜一憂。議場も身近に感じて貰い大成功だったとの事です。龍ヶ崎市も開かれた議会を目指して，議場コンサート等を開催していますが，公職選挙法改正に合わせたクイズで実施するのも良いと思いました。

街中を走る路面電車，本数も多く乗りやすく150円とリーズナブルな値段で高齢者等の足として活躍しています。夏はビール電車，冬はおでん電車として貸し切りもできるそうです。龍ヶ崎市にも路面電車を走らせる事ができたら，高齢者等の足として，路面電車が走る街として街おこしをし，交流人口増加に役立つと思います。ぜひ，将来目指して行きたいと考えさせられました。